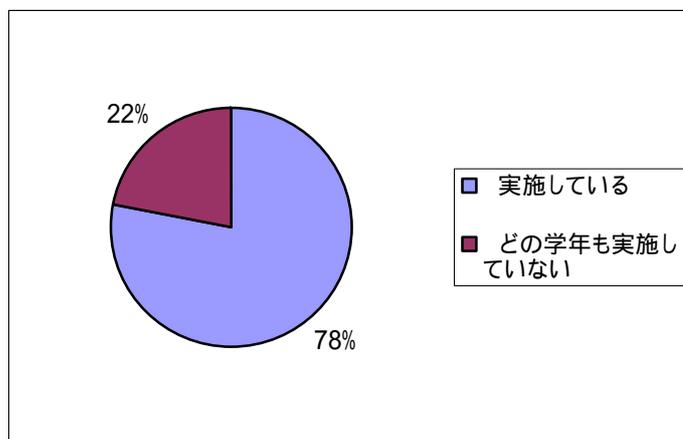


2 . 宿泊を伴なう旅行・集団宿泊的行事

(1) 実施状況

実施状況	校 数	割合 (%)
実施している	1 2 9	7 8 . 2
どの学年も実施していない	3 6	2 1 . 8
無回答	0	0 . 0
合 計	1 6 5	1 0 0 . 0

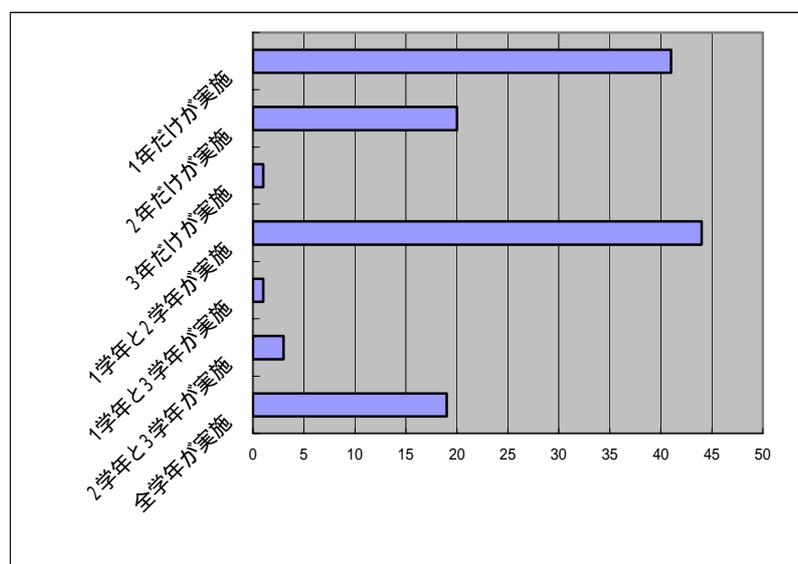


< 考察 >

- ・実施している学校は、日帰りで実施した割合より (7 2 . 7 %) も若干多い。
- ・生徒の体験不足が言われている今日、また教育活動の中で長期の宿泊体験を重視している中で、宿泊を伴なう校外学習を実施する学校は今後さらに増えていくのではないかと。
- ・「どの学年も実施していない」が約 2 2 % であり、予想以上に多い。

(2) 実施学年

実施学年	校数	割合(%)
1学年だけが実施	41	31.8
2学年だけが実施	20	15.5
3学年だけが実施	1	0.8
1学年と2学年が実施	44	34.1
1学年と3学年が実施	1	0.8
2学年と3学年が実施	3	2.3
全学年が実施	19	14.7
合計	129	100.0



< 考察 >

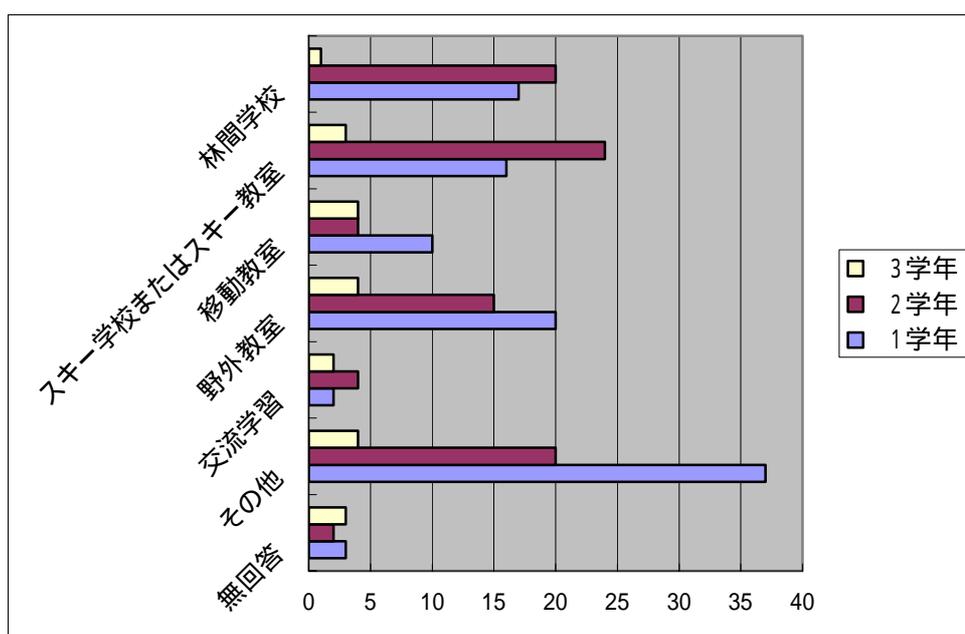
- ・この結果、1学年は105校(81.4%)が実施している。
2学年は86校(66.7%)が実施している。
3学年は24校(18.6%)が実施している。
- ・宿泊行事は1学年よりも2学年の方が多くはないかと予想したが、1学年が実施する学校が最も多く、続いて2学年である。
- ・1/3を上回る学校が1学年だけ実施し、1学年と2学年のいずれかが実施している学校は半数近くある。
- ・3学年だけが実施と回答した学校が1校あるが、修学旅行の他に実施しているのか、修学旅行の代わりに実施しているのか定かでない。

(3) 行事の名称

行事の名称	1 学年	2 学年	3 学年	合計 校数	割合(%)
林間学校	17	20	1	38	17.7
スキー学校またはスキー教室	16	24	3	43	20.0
移動教室	10	4	4	18	8.4
野外教室	20	15	4	39	18.1
交流学习	2	4	2	8	3.7
その他	37	20	4	61	28.4
無回答	3	2	3	8	3.7
合 計	105	89	21	215	100.7

「その他」の名称

天城の生活、山の学習、新入生英語キャンプ、校外宿泊学習、宿泊研修、閑谷学校、冒険活動教室、宿泊体験学習、登山、自然教室、妙高少年の家、青島サバイバルキャンプ

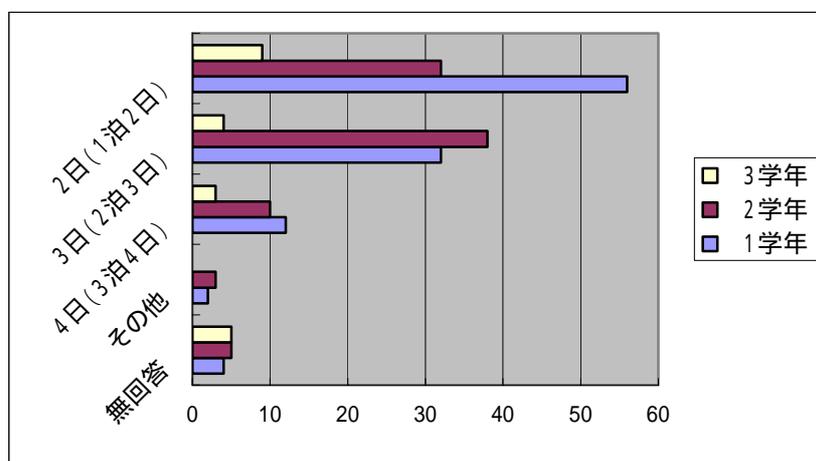


< 考察 >

- ・「その他の名称」が最も多い。それだけ様々な名称で行われているということである。
- ・名称は上記したが、参考になろう。
- ・次に「スキー学校またはスキー教室」が多いが、予想のとおりであり、半数弱の学校が実施している。
- ・続いて野外教室と林間学校が多く、2つ合わせると35.8%になる。
- ・交流学习は3.7と少ないが、姉妹校との交流他人との出会いを重視し、今後徐々に多くなっていくのではないかと。

(4) 実施日数

実施日数	1 学年	2 学年	3 学年	合計 校数	割合 (%)
2 日 (1 泊 2 日)	5 6	3 2	9	9 7	4 5 . 1
3 日 (2 泊 3 日)	3 2	3 8	4	7 4	3 4 . 4
4 日 (3 泊 4 日)	1 2	1 0	3	2 5	1 1 . 6
その他	2	3	0	5	2 . 3
無回答	4	5	5	1 4	6 . 5
合 計	1 0 6	8 8	2 1	2 1 5	1 0 0 . 0



< 考察 >

- ・ 2 日 (1 泊 2 日) が約半数で最も多く、次に 3 日 (2 泊 3 日) が多い。予想した通りである。
- ・ 「その他」として 1 学年が 2 校、2 学年が 3 校あるが、いずれも 5 泊以上になる行事である。

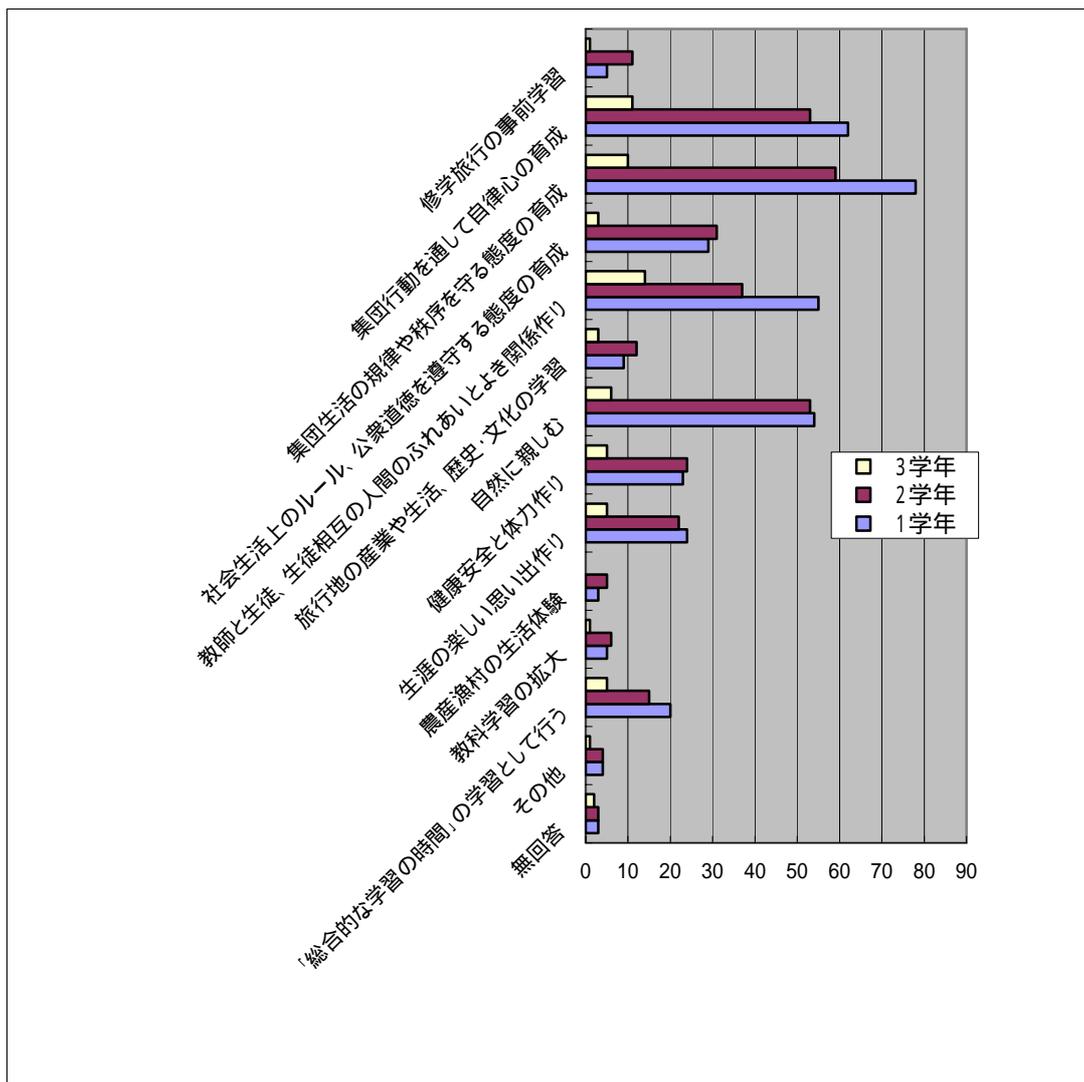
(5) 目的 (複数回答)

目的	1学年	2学年	3学年	合計校数	割合 (%)
修学旅行の事前学習	5	11	1	17	2.2
集団行動を通して自律心の育成	62	53	11	126	16.2
集団生活の規律や秩序を守る態度の育成	78	59	10	147	18.9
社会生活上のルール、公衆道徳を遵守する態度の育成	29	31	3	63	8.1
教師と生徒、生徒相互の人間の触れ合いとよき関係づくり	55	37	14	106	13.7
旅行地の産業や生活、歴史・文化の学習	9	12	3	24	3.1
自然に親しむ	54	53	6	113	14.6
健康安全と体力づくり	23	24	5	52	6.7
生涯の楽しい思い出づくり	24	22	5	51	6.6
農山漁村の生活体験	3	5	0	8	1.0
教科学習の拡大	5	6	1	12	1.5
「総合的な学習の時間」の学習として行う	20	15	5	40	5.2
その他	4	4	1	9	1.2
無回答	3	3	2	8	1.0
合計	374	335	67	776	100.0

< 考察 >

- ・「集団生活の規律や秩序を守る態度の育成」「集団行動を通して自律心の育成」が多いが、少子化の中で集団生活や集団行動を通して生徒に学ばせることの重要性を多くの学校が認識しているからであろう。それも1学年が多いのは日帰り行事の場合とまったく同じである。
- ・「教師と生徒、生徒相互の人間の触れ合いとよき関係づくり」も多い。これも少子化の中で子供たちに欠落している人間関係を重視しているからであろう。
- ・「自然に親しむ」も多い。環境問題と関連させ、自然の良さを味わわせることを目的にする学校の意図が理解できる。
- ・「農山漁村の生活体験」も近年増えているようであるが、修学旅行でとりあげている学校も多いようである。

- ・「修学旅行の事前学習」として行うのは2学年が多く、3学年ではほとんど行っていない。
- ・教科学習の拡大はどの学年も少ない。体験や生活訓練的なものをねらう学校が多いこと
ということである。



(6) 費用

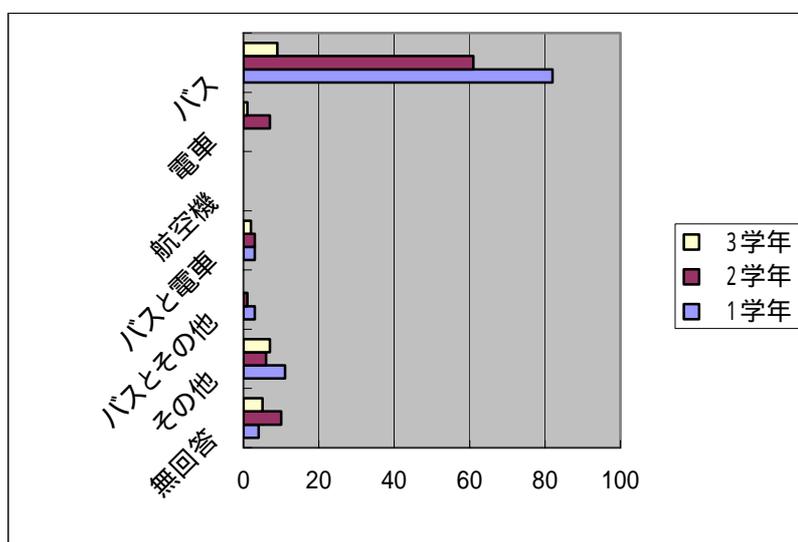
費用	1 学年	2 学年	3 学年	合計 校数	割合 (%)
10000 円未満	5 6	2 7	7	9 0	4 1 . 9
(以上 ~ 未満) 10000 円 ~ 20000 円	2 3	1 5	1	3 9	1 8 . 1
20000 円 ~ 30000 円	8	1 7	1	2 6	1 2 . 1
30000 円 ~ 40000 円	7	1 2	0	1 9	8 . 8
40000 円 ~ 50000 円	4	8	4	1 6	7 . 4
50000 円 ~ 60000 円	3	1	3	7	3 . 3
60000 円 ~ 70000 円	0	0	2	2	0 . 9
70000 円以上	0	1	1	2	0 . 9
無回答	3	8	3	1 4	6 . 5
合 計	1 0 4	8 9	2 2	2 1 5	1 0 0 . 0

< 考察 >

- ・ 10000 円未満の費用で行う学校が最も多く、42%である。
- ・ ほとんどが学校が 30000 円以内であり、72%を占める。が、上は少ないが、その中で 30000 円以上が 4 校回答している。交通費・行き先での体験の費用・小遣いなどすべてを含めると 30000 円以上になるのかあるいは他の理由があるのか定かでない。
- ・ 60000 円、70000 円を使っている 4 校は、例外的と考えられよう。

(7) 主な交通機関 (複数回答)

交通機関	1 学年	2 学年	3 学年	合計 校数	割合 (%)
バス	82	61	9	152	70.7
電車	0	7	1	8	3.7
航空機	0	0	0	0	0.0
バスと電車	3	3	2	8	3.7
バスとその他	3	1	0	4	1.9
その他	11	6	7	24	11.2
無回答	4	10	5	19	8.8
合 計	103	88	24	215	100.0



< 考察 >

- ・ 約 3 / 4 がバス利用である。これも予想した通りである。
- ・ 他の方法と組み合わせてバスを利用する学校もあり (12 校)。それも含めるとバス利用校は 76.3% になり、「宿泊行事はバスでいくもの」と言ってよいであろう。

